

## 参 考 資 料

○一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会名簿	1
○参考資料1：福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 リーフレット	4
○参考資料2：展示解説アプリ「ポケット学芸員」	8
○参考資料3：一乗谷朝倉氏遺跡資料館 英語版リーフレット	9
○参考資料4：遺跡内解説板の例	17
○参考資料5：一乗谷朝倉氏遺跡バーチャルガイド	18
○参考資料6：遺跡案内アプリ「戦国浪漫一乗谷」	19

# 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会委員名簿

令和2年6月18日現在

	団 体 名	役 職	氏 名
1	会 長 (公社) 福井県観光連盟	会長	山田 義彦
2	副会長 (一社) 朝倉氏遺跡保存協会	会長	岸田 清
3	委 員 朝倉氏遺跡を愛する友の会	会長	後藤 裕幸
4	〃 (公財) 福井市観光協会	理事長	清水 則明
5	〃 (監事) 日本旅行業協会中部支部福井地区委員会 ( (株) 近畿日本ツーリスト中部 福井支店)	委員長	桃木 敬一
6	〃 (監事) 福井商工会議所観光・サービス部会	部会長	北野 耕一
7	委 員 福井県交流文化部	部長	白 崙 淳
8	〃 福井県教育委員会	副部長	南谷 憲児
9	〃 福井県農林水産部	部長	森川 峰幸
10	〃 福井県土木部	部長	大槻 英治
11	〃 福井市商工労働部	部長	寺井 道博
12	〃 福井市教育委員会	教育部長	塚谷 朋美
13	〃 福井市農林水産部	部長	林 岳宏
14	〃 福井市建設部	部長	宮下 和彦

# 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会幹事名簿

令和2年6月18日現在

	団 体 名	役 職	氏 名
1	幹事長 (一社) 朝倉氏遺跡保存協会	常任理事	奥田 道雄
2	幹 事 朝倉氏遺跡を愛する友の会	事務局長	中川 光夫
4	〃 日本旅行業協会中部支部福井地区委員会 ( (株) 近畿日本ツーリスト中部 福井支店)	委員長	桃木 敬一
5	〃 (公社) 福井県観光連盟	専務理事	坪田 昭夫
6	〃 (公財) 福井市観光協会	事務局長	中川 伸一
7	〃 福井商工会議所	地域振興部長	春日野 道治
8	〃 福井県交流文化部ブランド課	課長	北畑 茂和
9	〃 福井県交流文化部観光誘客課	副部長 (観光誘客)	獅子原 朋広
10	〃 福井県交流文化部文化課	課長	竹内 宏治
11	〃 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	館長	西澤 弘純
12	〃 福井県教育庁生涯学習・文化財課	課長	高橋 道男
13	〃 福井県農林水産部県産材活用課	課長	鈴木 清史
14	〃 福井県土木部道路建設課	課長	辻村 直哉
15	〃 福井県土木部道路保全課	課長	平林 透
16	〃 福井県土木部河川課	課長	名久井 孝史
17	〃 福井市商工労働部観光文化局文化振興課	課長	林 美樹子
18	〃 福井市商工労働部観光文化局文化振興課 一乗谷朝倉氏遺跡管理事務所	所長	三上 進
19	〃 福井市商工労働部観光文化局 おもてなし観光推進課	課長	塩谷 靖喜
20	〃 福井市教育委員会事務局文化財保護課	課長	天谷 賢一
21	〃 福井市農林水産部農村整備課	課長	大澤 良彦
22	〃 福井市建設部道路課	課長	伊藤 直樹

## 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会 ワーキンググループ名簿

令和2年6月18日現在

	団体名	役職	氏名
1	座長 (一社) 朝倉氏遺跡保存協会	副会長	奥田 道雄
2	日本旅行業協会中部支部福井地区委員会 (株) 近畿日本ツーリスト中部 福井支店)	委員長	桃木 敬一
3	(公社) 福井県観光連盟	観光 プロデューサー	長野 隆
4	(公財) 福井市観光協会	主査	酒井 健一
5	福井県交流文化部観光誘客課	主任	多田 隆功
6	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	総括文化財調査員	川越 光洋
7	福井県教育庁生涯学習・文化財課	主任	玉村 伸一
8	福井県土木部道路保全課	主任	松井 義弘
9	福井市商工労働部観光文化局文化振興課	主幹	田邊 朋宏
10	福井市商工労働部観光文化局文化振興課 一乗谷朝倉氏遺跡管理事務所	主幹	大川 進
11	福井市商工労働部観光文化局 おもてなし観光推進課	主事	八木 佑平
12	福井市農林水産部農村整備課	主事	佐藤 弘輝
13	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会ボランティア		田上 悟

## 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会 事務局 名簿

1	福井県交流文化部文化課	課長	竹内 宏治
2	福井県交流文化部文化課	参事	三武 紀子
3	福井県交流文化部文化課	主任	嶋崎 晃伸
4	福井県交流文化部文化課	企画主査	藤野 一郎
5	福井県交流文化部文化課	主事	宮川 陽子

## Information

### 施設案内



資料館

- 開館時間 午前9時～午後5時(ただし入館は午後4時30分まで)
- 休館日 年末年始(12月29日～翌年1月2日)  
その他、展示替えなどで随時に休館することがあります。
- 入館料 一般(個人)100円 (団体)80円  
ただし、高校生以下と70歳以上は無料  
復原町並との共通観覧券 230円  
250円

## Access

### 交通機関

- 徒歩15分  
JR福井駅  
[13分徒歩] 一乗谷駅下車
- 徒歩8分  
北陸山形鉄道  
福井IC 朝倉氏遺跡  
資料館
- 徒歩25分  
JR福井駅  
西口西へ徒歩 朝倉氏遺跡  
資料館
- 徒歩5分  
朝倉氏遺跡  
資料館 朝倉氏遺跡  
資料館

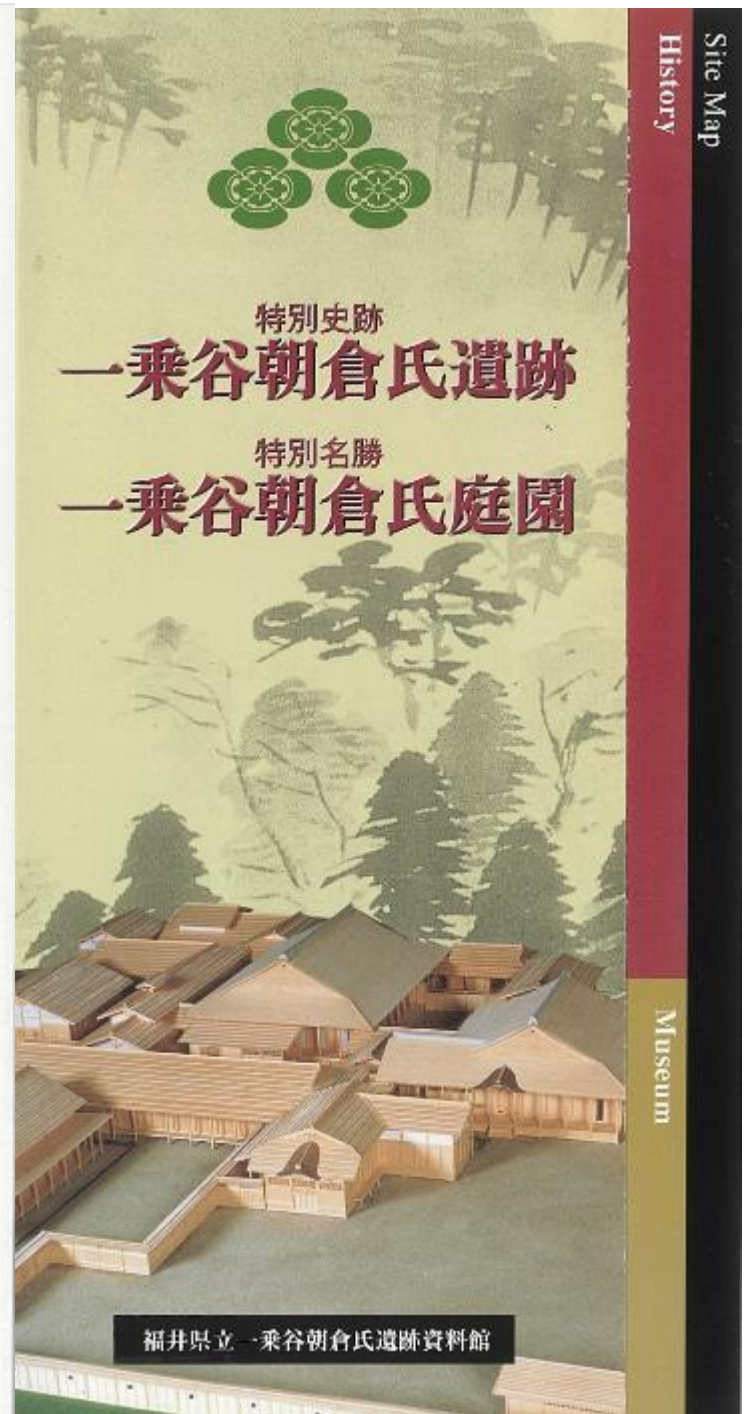


## 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

〒910-2152 福井市安波賀町4-10 ☎ 0776-41-2301



健康長寿の福井



# 一乗谷朝倉氏遺跡 ―よみがえる戦国城下町―

## 朝倉氏の歴史

朝倉氏はもと兵庫県淡路郡の武士でした。一乗谷初代孝景は応仁の乱（一四六七～一四七七年）で西軍に参加していましたが、文明二年（一四七〇）東軍に寝返り、二乗谷に居城を移したと言われています。主家であった越前守斯波氏や守護代の家柄の中斐氏との戦いは二代氏景まで繰り返され、三代貞景が永正二年（一五〇六）の加賀一向一揆を撃退したことにより、林前一団の安定が達成されました。四代孝景は近江、美濃などの隣国にたびたび出兵し、また京や奈良の公家、僧侶などの文化人が下向してくるのを庇護しました。五代義景は、後の十五代将軍足利義昭を一乗谷の安善寺の御所に迎え、また南陽寺の観極堂等で款待しますが、義昭を奉じて上洛することにはしませんでした。天正元年（一五七三）織田信長との万槌坂の戦いで敗北し、織田大名朝倉氏はついに滅亡。一乗谷の町は焼火によって焼上り化したのです。

## 朝倉氏遺跡

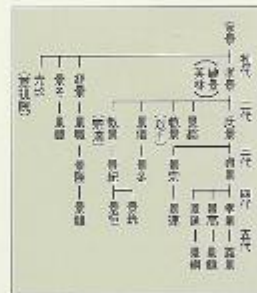
朝倉氏遺跡は、福井市街の東南約十畑に位置する戦国時代の城下町の跡で、四〇〇年以上もろくろ埋もれて残されてきたことで有名です。昭和四十六年に二丁八畑が国の特別史跡に指定され、史跡公園として発掘・整備が進められています。また、平成三年には遺跡内の四庭園が国の特別名勝に指定されました。城下町は、東の一乗谷城（語城）、西の東郷橋山城、北の成願寺城、南の三峰城で敵軍に守られています。一乗谷川に沿った狭い平地部では、朝倉氏の館をほはじめた武家屋敷、寺院、職人達の町屋が道の両側に所狭しと建てられていたことが発掘で明らかとなっています。復原武家屋敷を見学し、朝倉館、湯殿跡庭園、中ノ御殿、諏訪跡庭園に至る約一時間コースが一般的でしょう。時間に余裕があれば寺院と町屋前、上城戸、下城戸、西山光園寺の石仏群、標高四七三mを誇る一乗谷城などの見学もおすすめです。

## 朝倉義景館跡

この館は第五代義景の邸宅で、西側の宮門（江戸時代）に建立から入り、南は三方に濠と土塁が巡り、六丁四百畑の敷地に十七棟の建物が建っていました。常御殿を中心にして、南側には花壇、庭園、主殿、会所、茶室などの表向の建物群が、また北側には台所や暖、湯殿、蔵などの内向の建物群が格然と配置されています。



朝倉義景館跡



朝倉氏略系図



一乗谷城主初代朝倉孝景肖像



火鉢跡関連遺物



石製の杖



中国製茶器の土製大入

## 出土した遺物

長年の発掘調査の結果、遺跡からは陶磁器をはじめとして石製品、木製品、金属製品、紙片、骨、自然遺物などが多量に出土しています。それらの出土品のうち、2,313点が重要文化財に指定されています。

展示室では、これらの出土遺物や地形模型、朝倉義景館復元模型などを中心として、朝倉氏の歩み、朝倉氏の戦い、信仰と宗教、茶の湯と遊芸、住居、暖房と明り、日常の道具と化粧用具、食器具、調理と貯蔵具、中世の経済活動と朝倉氏遺跡の各テーマを設け、城下町一乗谷に住まいした一人余りと想定される戦国時代の人々がどのような生活を営んでいたかをわかりやすく展示しています。

### 城戸と一乗谷城

城下町に下城戸によって仕切られています。下城戸山麓には、巨石を積んだ杉杉の城戸口があられます。一乗谷城は、東方山土にあり、岩盤に防壁とれて、千代蔵、割谷風敷、直直、不動清水などの御殿前と、一の丸などの井櫓井があります。



城戸口



一乗谷城

### 寺院と町屋

一乗谷には四十数寺の寺院がありました。大菩薩真勝院の白山宗僧寺や盛徳寺には、鬼存在多くの石仏を石塔が残されていて、石塔のものがとがでます。若知谷から八ヶ岳にかけての山際には多くの石塔が確認されています。西光寺では、木堂跡が土壁で囲まれた敷地内にあり、その

寺内の寺院では極楽寺や松葉墓地などを見られることができます。道路に面した町屋跡からは、並替大徳をいり、並水大相屋をはじめ、数珠屋、左白屋、銀物師、松木助などの職人の家のほか、押替を置いた匠者の家なども確認され、一乗谷の賑わいがうかがえます。



寺院と町屋



西山宗匠石仏群

### 豪壮華麗な庭園

室町末期庭園の様式をよく伝える多くの庭園があります。川倉御所庭園は完全に埋没していたので、建物の園橋がよく分かります。湯殿跡庭園の林立した立石前には、飯田武持の氣迫が感じられます。諏訪篤助庭園は最も規模の大きい豪壮華麗な庭園で、秋の黄葉が美しいです。



秋の紅葉庭園



### 計画的な城下町

長年の発掘調査の結果、戦国で初めて戦国時代城下町の具体例が明らかにされました。一乗谷を基盤に走る道路に沿って、武家屋敷、土院、商人の邸宅の住宅町屋などが所収しと並んで、格子は柱敷き、道は防壁のための矩折、丁字路、行止りなどの工夫がみられます。城下町の



町並と林徳南地区



津波にあたるべく、三〇メートルの石を基盤にして築かれたと推定されています。

### 復原された武家屋敷

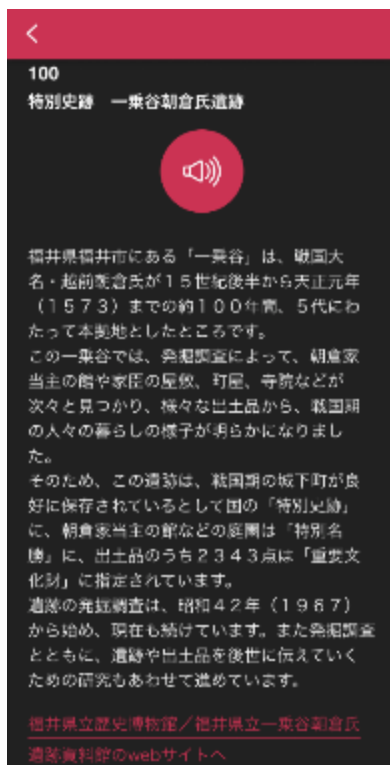
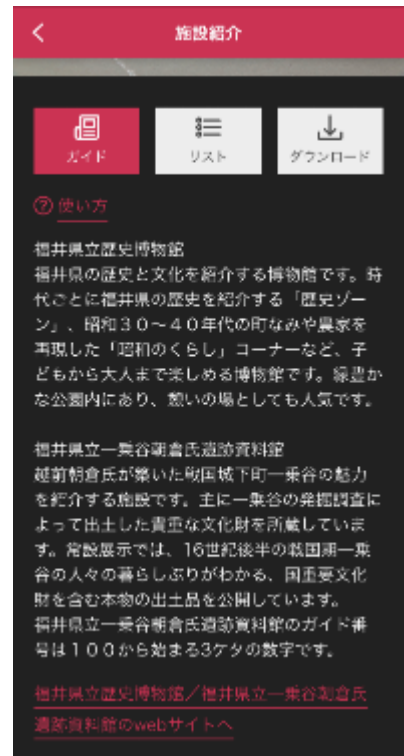
東西三〇メートル、南北二〇メートルの敷地をもつ武家屋敷を復原しました。発掘では、土庫の二ヶ所に開く門、中央に東西十二三メートル、南北七五メートルの土壁、南東隅に一間半四方の茶室、庭などが発見されました。日常使用される鞍や戸、屏風なども復原されています。この復原武家屋敷は、発掘遺構面に六〇センチ厚の土を敷き、当時の材料、工具、技術等を十分に検討して建てられたものです。









展示解説アプリ「ポケット学芸員」



**Access**

**Transportation**

**By Train**  
Via JR Fukuoka - Hoku Line  
Get off at Ichijodani Station. Walk east about 5 minutes.


**By Bus**  
Via Ichijodani-Kosemura Express Bus or Keikoku Bus (GS or A2 Route)  
Get off at "Asakura Shiryuwan" bus stop.

**By Car**  
About 20 minutes from Toku Station (JR Fukuoka Line)  
About 8 minutes from local interchange of the Fukuoka Expressway

**History Museum of Ichijodani Asakura Family Site**  
4-16 Abasaka-cho, Fukui City, Fukui Prefecture, 910-2102 JAPAN  
Phone : (+81)-776-41-2301 E-mail : asakura@pref.fukui.lg.jp  
[http://asakura-museum.pref.fukui.lg.jp/000\\_english](http://asakura-museum.pref.fukui.lg.jp/000_english)  
<https://www.facebook.com/IchijodaniMuseum>

---

Fukui Cultural International Dispatch Executive Committee  
J1-1-1 Ono-cho, Ono City, Ono Prefecture 919-8550, JAPAN  
Editor in Chief: Tetsuo Ono (Chairman, Department of Cultural Affairs, Ono City)  
Published: March 2015  
<http://www.real-japan-fukui.jp>  
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the 1st 4/2015




# History Museum of Ichijodani Asakura Family Site






## Welcome to the History Museum of Ichijodani Asakura Family Site

The Ichijodani Asakura Clan Ruins located approximately 10 kilometers southeast of Fukui City are the remains of a castle town dating back to the Sengoku Period (late 15th century to late 16th century). The ruins are unique in that they remained untouched beneath the ground for more than 400 years. 278 hectares were nationally designated as a special historic site in 1971 with the area continuing to be excavated and maintained as a ruins park today. Furthermore, four of the gardens within the historic site were nationally designated as a Special Place of Scenic Beauty.



Several decades of excavation work have unearthed countless numbers of relics including ceramics, items made from stone, wood and metal, paper, bones, and various natural remains, 2,343 of which have been designated as Important Cultural Assets.



The exhibition room, featuring a topographical model of Ichijodani along with the excavated materials, is divided into various themes; warring and the Asakura clan, faith and religion, tea ceremony and recreational arts, housing, heat and light, everyday tools and makeup implements, dining ware, cooking and storage, and economic activities in the middle ages. The materials are presented in a concise and easy to follow manner providing a better understanding of the lifestyles led by the 10,000 or so inhabitants of Ichijodani during the Sengoku Period.

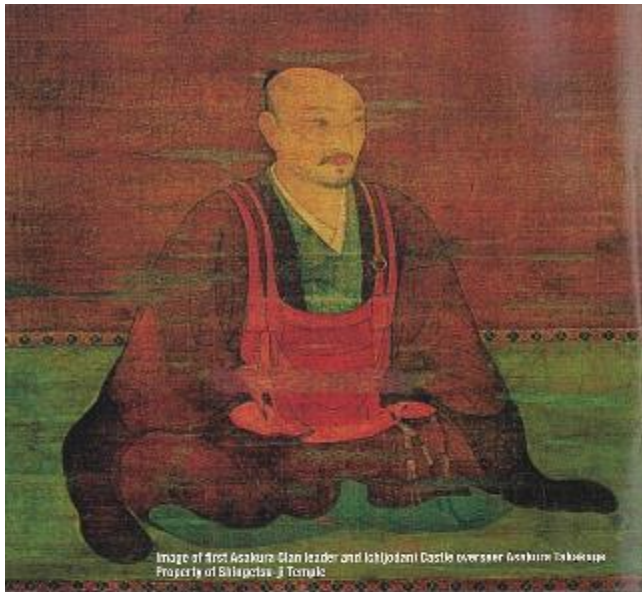


Image of first Asakura Clan leader and Ichijodani Castle overseer Asakura Takakage  
Property of Shiga Pref. J. Toriaki

# The History of the Asakura Clan



Image of Asakura Yoshikage  
Property of Shiga Pref. J. Toriaki

The Asakura clan was a samurai family originally hailing from the Yabu region of Hyogo Prefecture. While the founder of the Ichijodani branch of the Asakura clan, Asakura Takakage, joined the Western Forces during the Onin War (1467-1477), he defected to the Eastern Forces at Echizen and set up camp in Ichijodani. In 1471, he received an order from the Shogun, Ashikaga Yoshinasa, to become the official Shugo (military governor) of Echizen, making him a Sengoku Daimyo (warlord of the Sengoku Period). Military disputes between the Shugo (military governor) of Echizen Province, the Shiba clan, and the Shugodai (acting military governor) the Kai clan, continued into the rule of the second leader Asakura Ujikage. It wasn't until the third leader Asakura Sadakage repelled the Kaga Ikko-ikki rebellion of 1506 that Echizen Province finally reached a state of stability. The fourth leader Asakura Takakage, who made regular military expeditions to Omi, Mino and other neighboring provinces, also provided protection to the educated elite leaving the capital, including monks and court nobles from Kyoto and Nara. While the fifth leader Asakura Yoshikage welcomed Ashikaga Yoshiaki (who later became the 15th Ashikaga Shogun) into the Imperial Palace of Anyo-ji Temple in Ichijodani, and showed great hospitality by hosting banquets such as the one held in Nanyo-ji Temple, Yoshikage decided not follow Yoshiaki to the capital. Oda Nobunaga later defeated the Asakura army in the Battle of Tonzaka in 1573, bringing an end to the Asakura clan's reign as Sengoku Daimyo, and burning Ichijodani to the ground in the process.



Remains of Asakura Yoshikage's villa

# Tea Ceremony and Faith



Chinese tea caddy, tea bowl, tea caddy



Many who fled the war-torn capital of Kyoto, including the Shogun, Ashikaga Yoshiaki and countless other elite, sought the protection of the Asakura clan. Their contributions helped develop what would later be known as Asakura Culture, a legacy the warriors of the Asakura clan would pride themselves in.

Tea sets, vases, incense burners and other household ornaments have been unearthed throughout Ichijodani, attesting to the widespread nature and high level at which recreational arts such as the tea ceremony, ikebana and enjoying incense scents were practiced by residents at the time.

6



Shogi pieces

Furthermore, names and Buddhist scriptures on wood plates, and "Teikin Oraji" (a collection of manuscript templates used for family education) have been excavated along with a variety of stationery items including inkstones and inkwells, exposing the existence of well educated people. Everyday recreational items such as shogi pieces, sugoroku dice, stone pieces, boats, and dolls have also been recovered, pointing to the resident's interest in the recreational arts.



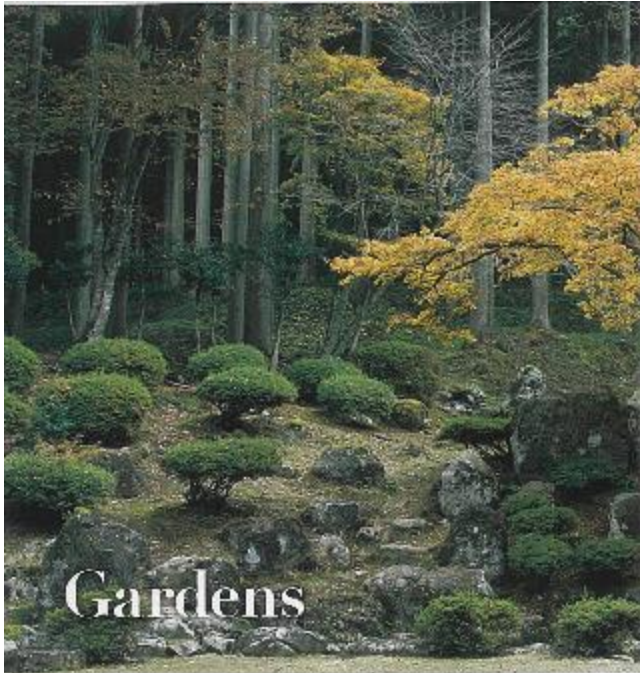
Sugoroku game pieces -Dice-Go pieces

Ichijodani housed numerous temples. Some 3,000 stone Buddhas and stone towers including Amida (Buddha), Jizo (guardian deity of children), Kannon (Goddess of Mercy), and Gorinto (five-storey gravestones) have been found in and around Ichijodani. Many other relics such as jichingu (tents for appeasing the god of the land) and idols have also been unearthed, giving us a glimpse of the faith of Ichijodani's residents during the Sengoku Period.

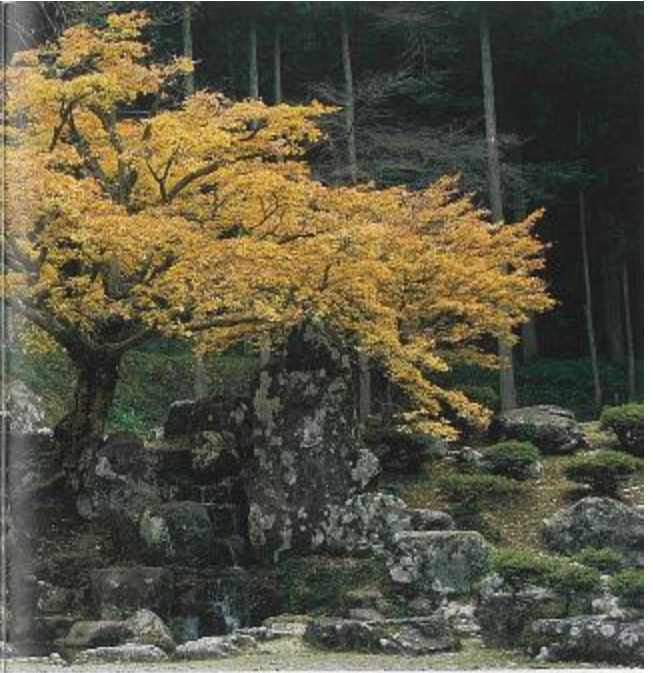
Nishiyamakacho-II Temple site (N. Doko Kizori)



7



# Gardens



Suwa Yakata Remains Garden (Place of Special Scenic Beauty) (by Iken Chieji)

More than 15 gardens including the Asakura Yakata Remains Garden have been found within the ruins site, giving us an excellent idea of garden design in the 16th century. The Ichijodani ruins contains Japan's largest number of gardens discovered. The great variety of excavated gardens attests to the popularity of gardening in Ichijodani at the time. The Asakura Yakata Remains Garden is characterized by the flat Kawara Stones lining the entire bed of the pond. Next to the garden is a tea-room thought to have served as a point of appreciation for the garden and for tea parties. It is almost as if the upright boulders found throughout the Yudono Remains Garden harbor the spirits of warlords from the Sengoku Period. The Suwa Yakata Remains Garden is the largest and most splendid of the excavated gardens and boasts gorgeous tinted autumnal leaves.



Asakura Yakata Remains Garden (Place of Special Scenic Beauty)

Yudono Remains Garden (Place of Special Scenic Beauty) (by Iken Chieji)

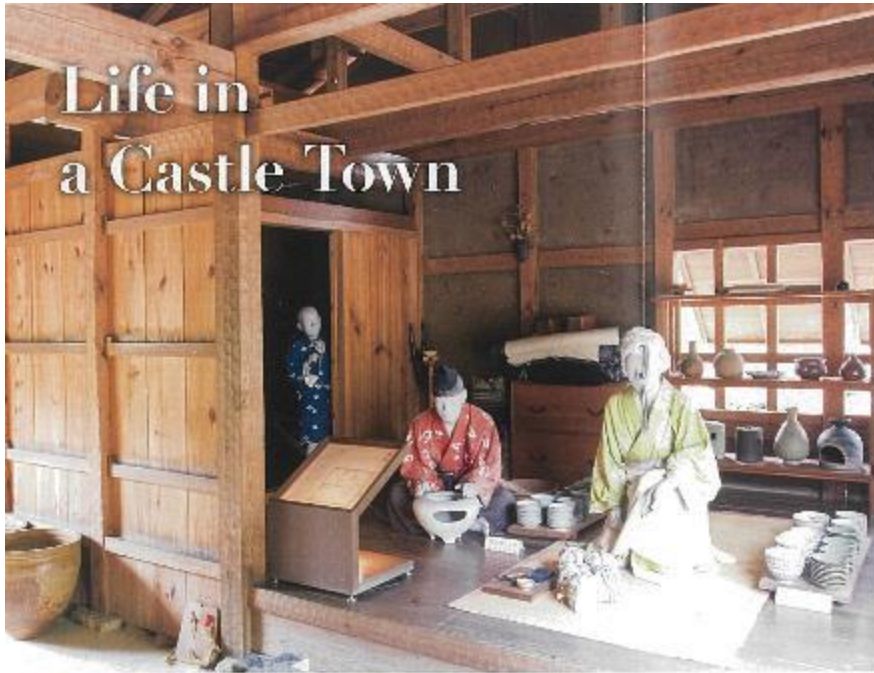


12

Kusya-ji Temple Remains Garden (Place of Special Scenic Beauty)



13



Oniita Stone Roofing Tile

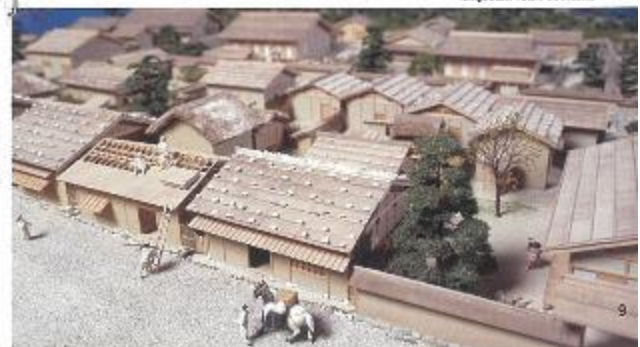
The living quarters of Ichijodani's residents varied in size depending on their status in the social hierarchy. The lord, his family and other upper-class samurai built numerous structures to meet a variety of purposes. Their impressively large residences featured a garden surrounded by earthen walls and fences. Lower-class samurai and average residents used the full width of their land to build a single multi-purpose structure that often accommodated a shop and work area. While there may have been a significant gap in terms of scale, each residence had its own well, unlike the shared wells seen in other towns such as Edo and Kyoto.

The basic structure of the residences themselves appear to share many common architectural traits. In place of roof tiles, roofs were covered with the bark of Japanese cypress and cedar trees, wooden shingles and long plank slats, or with thatch-like materials. The highest point on the roof was fitted with an Oniita (gargoyle-like stone or wooden plate used on the ridge-ends of a roof) or building stones. While all pillars were square and most buildings have a cornerstone, some structures were constructed with pillars sunk into the ground. Earthen walls were constructed using wattle and daub techniques with rooms separated by wooden doors etcetera. It is thought the interiors consisted mainly of wooden floors, with tatami and other flooring materials used in certain sections. The ruins also show evidence of earthen floors. Living conditions in Ichijodani appear to have been relatively similar to residences of the Edo Period (1603-1868).



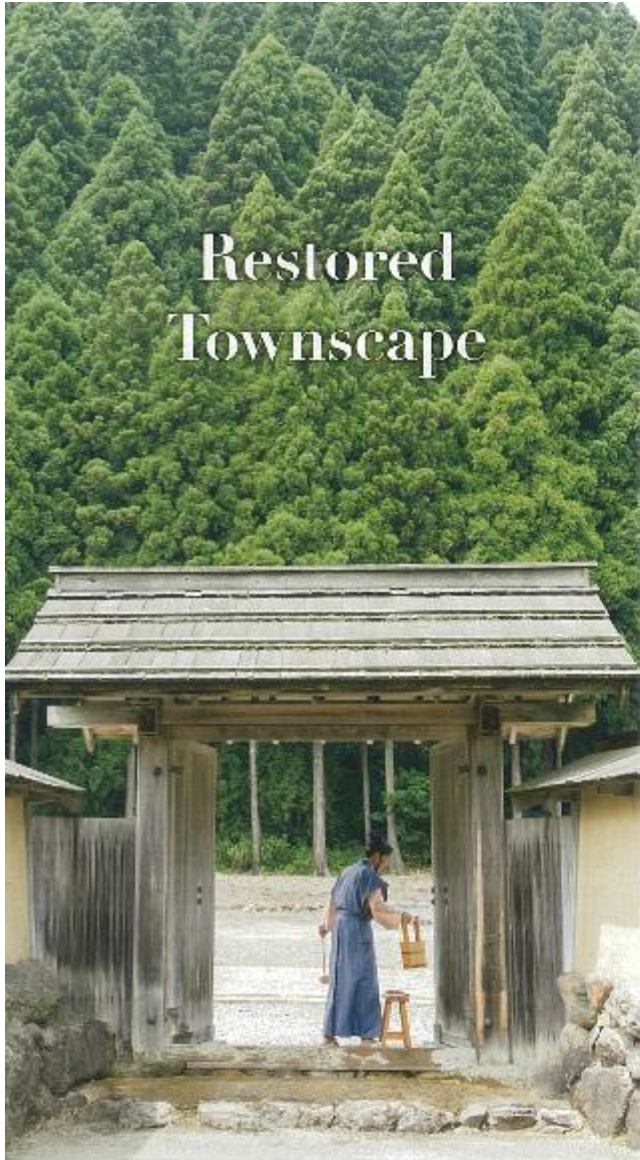
Recreated Samurai Residence

8



Ichijodani Town Georama

9



## Restored Townscape

Several decades of excavation work have revealed the Asakura Clan Ruins as the first concrete example of a castle town from the Sengoku Period. The samurai residences, temples, and townhouses of merchants and craftsmen closely lining the network of roads running through Ichijodani are a spectacular sight. Defense measures such as non-aligning T-junctions and dead ends can also be found. The ruins show that a basic unit of 30 meters was used for construction of this castle town.

10

The townscape of this once prosperous castle town has been excavated and recreated in almost its original state. Excavation of a samurai residence on a plot of land measuring 30 meters east to west and 30 meters north to south has revealed two entrances, with earthen walls, a main house measuring 11.3 meters east to west and 7.5 meters north to south, a tea room in the southeast corner measuring 2.7 meters on all four sides, and a garden. Other everyday facilities such as a storeroom, well, and toilet have also been recreated. In order to preserve the excavated ruins, the surface has been raised by 60 centimeters, and careful consideration was taken to ensure historically accurate materials, tools and techniques were used to recreate the residence.



Recreated samurai residence illustration



Excavated samurai house















Recreated village: Headman's house and dyeling craftsmen's house

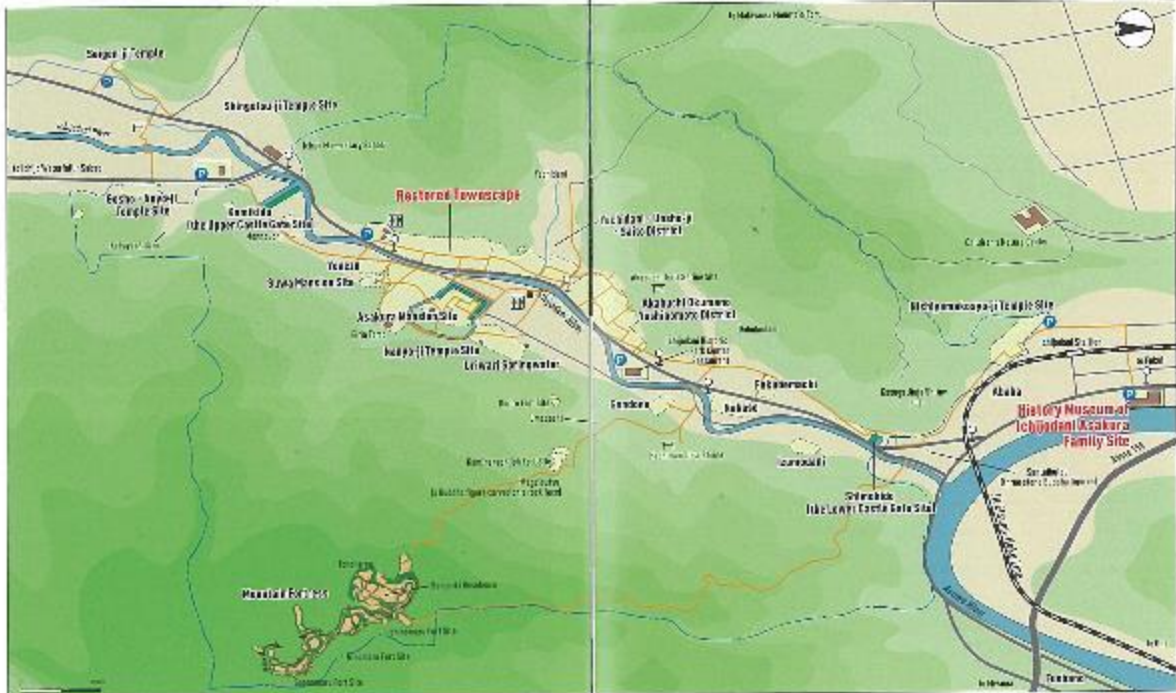
11



## Ichijodani Asakura Clan Ruin Site

### Map

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
|  Structures                          |  Earthen ramparts         |  Special Historical Site boundary |  Car Park  |
|  Environmental Development Area etc. |  River, canal, moat, etc. |  Trees                            |  Restrooms |
|  Flatlands                           |  Footpath                 |  Bus Stop                         |   |
|   |  Prefectural Route etc.   |  |   |



### Museum Information

#### Hours

9am to 5pm (no admission after 4:30pm)

#### Closed

Year-end and New Year holidays  
May close temporarily for exhibition rearrangement and maintenance

### Admission

- Permanent Exhibition
  - <Individuals> 100 yen <Groups> 80 yen
  - Free admission for persons high school age and below, or 70 years and older
  - 230 yen for joint ticket with "Restored Townscape"
- Special Exhibition
  - Depends on the Exhibition

遺跡内解説板の例



一乗谷朝倉氏遺跡バーチャルガイド

タブレット上に当時の建物をCGで復元！  
ポイントごとにさまざまな映像体験が味わえます！



戦国時代にタイムスリップ?!  
一乗谷朝倉氏遺跡  
バーチャルガイド  
好評レンタル中!

レンタル料 1台 500円  
一乗谷朝倉氏遺跡の受付窓口でお申込みできます  
団体の方は、電話での予約も受け付けます



【注意事項】  
・タブレットは精密機械のため、悪天候時には貸し出しできません。  
・タブレットの数は限りがあります。先着順になります。  
・貸付時に利用者の身分証（運転免許証、パスポートなど）をコピーさせていただきます。  
・コピーはタブレット返却時以降実施します。  
・利用者の故意または重大な過失によりタブレットを破損した場合は、修理または買い替えに要した費用を併償いただきます。

<お問い合わせ>  
一般社団法人 朝倉氏遺跡保存協会（福井市城戸ノ内町 28-37） TEL 0776-41-2330（電話受付 10時～16時）

遺跡案内アプリ「戦国浪漫一乗谷」

